

1. 件 名：三菱原子燃料株式会社による核燃料輸送物設計変更承認申請に関する面談（1）
2. 日 時：令和5年3月7日（火）15時00分～15時35分
3. 場 所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※はTV会議システムによる出席）：  
原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設審査部門  
松本企画調査官、日坂管理官補佐、甫出主任安全審査官、山後安全審査官、真下安全審査専門職  
三菱原子燃料株式会社  
燃料技術本部 燃料技術部 燃料設計課 主査 他1名※  
三菱重工業株式会社  
原子力セグメント 機器設計部 プラント機器設計課 主席技師※
5. 自動文字起こし結果：別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。  
※一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。
6. その他：  
なし

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい、規制庁の真下ですこれから、三菱原子燃料株式会社の核燃料輸送物設定変更承認申請に係る面談を開始します。まず、不開示情報の発言注意をしてください。もし不開示情報発動にしてしまった場合にはその旨をその場で指摘してください。
0:00:18	また、8、発言される前には所属と氏名を述べてから発言をお願いします。また、使用しないときのマイクについては網戸にするようお願いします。
0:00:28	それでは今回の件について、神宮には、事故であればあまりこう、
0:00:38	詳細まではききませんので、今回の輸送容器の使用用途ですとかね。あとは変更の箇所等について説明
0:00:49	M N F の方から説明をお願いします。
0:00:53	すいません規制庁さんの方ですけれども、今回の行政相談に於いて、M N F 側からは、説明したり話したり相談したいとそういったところをまずお願いします。
0:01:05	はい。承知いたしました。あとですね、私どもがですね所有している、新燃料輸送容器これ三菱原子燃料で作った新燃料、或いはですね、
0:01:18	ちょっとアメリカの方ですね、確保する場合がございますアメリカの方からですね国内の発電所まで、新燃料を持ってくるための容器というのがですね今回申請したいものの対応でございます。
0:01:32	で、今日ご相談申し上げたいところとしましてはですね今後この紙、
0:01:38	あと私どもが考えているですね、スケジュール感なり、或いはちょっと予定なりというふうなところでですね、
0:01:46	今後の進め方をご相談させていただければというふうに考えております。
0:01:51	まずですねこのM F C 湾という名前がついております新燃料輸送容器でございますけれども、これ先ほど申し上げました通り私どものM N F の東海の工場或いはですね、アメリカの方からですね新燃料を発国内の発電所に運ぶと。
0:02:11	いう用途に使っているものでございます。
0:02:14	この容器なんですけれども、今の計画で、今いただいているですね、ライセンス。
0:02:21	でいきますとですね、2024年の7月、
0:02:25	執行時期でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:02:28	ただですねこの直前のところでですね実はアメリカから日本への燃料の移送、燃料輸送ということが予定されておりましたですねちょっと口頭で非常に恐縮なんですけれども 24 年の上期は 1+ ぐらいですね。
0:02:44	の時期で言えば平成 2024 年の
0:02:48	■■■■■■なりというふうな時期にですね。
0:02:52	輸送ということが予定されてございます。ですので、そのタイミングまでにですね一応今、今後ですね申請したい日本の許認可、或いはですねアメリカでのまり Validation アメリカでの許認可を取らないといけないと。
0:03:09	いうことをごさいますして実質的にですね。
0:03:12	移送時期が、を考えますとですね、今年 12 月ですね、2023 年の 12 月末ぐらいまでをめぐりにですね、
0:03:25	容器商品或いは設計者ニッサカアメリカのり張りを取らないといけないと、いうふうな状況でございます。
0:03:31	スケジュールとしてはそういうところでございます。
0:03:35	次にですね、今回変更申請を予定しているものとしましてですねちょっと作業量とかそういう意味でですね少しご説明させていただきたいんですけれども、
0:03:47	まず一つ目はですね、容器、今回ですね法令改正ということがございまして大きな法令改正としてですね経年劣化、
0:03:58	の評価を追加しなさいということがですね、法令改正でうたわれてございまして、一つはこれ、
0:04:06	この評価というのがメインになるかなと思ってます。
0:04:10	実質的ですね今回の輸送容器、ほとんどの部分は金属製というふうなところでございますので、いわゆる、
0:04:19	高分子材料とかそういうものっていうのは限られてはいるんですけども、ちょっと議論になりそうなところとしてはですねこの容器、
0:04:29	なんですけれども、私どもの製品であるし燃料を運ぶと。
0:04:33	いう、
0:04:35	用途がございまして進路をですね。
0:04:38	燃料には当たりたくない。
0:04:40	いうふうなところでね、ショックマウントというふうなところでいわゆるバネでですね、中の
0:04:46	燃料の部分を浮かすような構造にしてましてそのところ、ゴム、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:04:52	を使っているんですけどもそういうところですね、ちょっと新しいところで、
0:04:56	経年劣化の評価を新しく追加している、或いはですね、疲労評価を追加していると、いうふうなところですね、大きな変更点かなと。
0:05:07	いうふうに考えてございます。
0:05:09	それからもう一つがですね、これ最近のですね一応認可状況というふうなところでございまして、
0:05:17	この年齢をですね、運ぶときに実際には燃料集合体を容器の中の
0:05:24	固定をするんですけども、
0:05:27	容器年齢を保護するためにですね、カードボードとか、
0:05:32	そういうふうなものですねいわゆるボール網ですね、こういうふうなもので養生してございまして、最新の許認可では、最近のですね、
0:05:42	申請等を見てますとですねそういうものも入れた解析をしていると。
0:05:47	いう事情がございまして、それを今回、改めてですね、考慮した解析に見直してございます。
0:05:54	ですねこの解析の変更に伴ってですねこのそもそものですね、この臨界評価というのをやったのがですねもうすでに30年以上前でございます、
0:06:06	解析コードとかももう当時からするとですねもう全然今と変わっているということもございまして、今日新しいものに取りかえると。
0:06:17	いうこととございまして。いわゆる許認可実績のあるものの中の、
0:06:23	で、最新のものというふうにお考えいただければ実際に解析するのがですね、三菱重工さんになりますのでそこで用いているものの最終のものを適用すると。
0:06:36	いうふうなところでですね変更を考えてございます。
0:06:40	あとその他ですね、手計算レベルということではあるんですけども、内圧の評価だとかですねそういうふうなところを若干加えていると。
0:06:51	いうふうなところですね、ここを予定してございます。
0:06:56	主にこういう動きだというふうなところですね、こういったところではこの点でございまして。でですねそういうふうな事情でございまして私どもとしてはですねできれば3月或いは4月早々ぐらいでもですね、
0:07:11	申請をさせていただいて、先ほどご説明を申し上げたような点についてですね、議論をスタートさせていただければと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:07:21	いうふうなことでですね、まずはそのご相談ということですね、今回、お時間をいただいた次第でございます。
0:07:29	私の説明としては非常に概略ですけれどもも以上でございます。
0:07:36	久野マシモです。
0:07:38	ありがとうございます。
0:07:42	規制庁側から何か、
0:07:46	規制庁のサンゴですけれども、今お話いただいたのは、概要的なところをどういうふうに考えている、いちいちしようとしているかというところなんですけれども、
0:07:58	理解しましたけれども、はい。
0:08:01	何か相談したい事項みたいなのは何かあるんですかね。ただ単に、これを出すので、受け取ってもらえますよねっていう。
0:08:10	だけなのか。
0:08:12	なんか、はい。先行事例とカー審査会合とかを見ていてよくわからないことがあって、確認したい点があるとか、そういったところがもしあれば、どうぞご説明ください。
0:08:27	そうですね審査会合等に関する疑問点ということはありません。今回ちょっと一番ですねご相談したかったところは私ども結構工程がタイトなところもございまして、
0:08:40	そういうふうなところを踏まえましてですねこれを早めにですね、できれば、スタートさせていただければというふうなところですね、
0:08:51	ご相談した次第でございます。
0:08:58	規制庁のサンゴですけれども、そうすると、現在そちらで行っている評価とか、考え方とかそういったところ2、
0:09:05	何か懸念点があるとかっていうところではなくて、
0:09:10	ラーフけど審査し、
0:09:13	してよねっていう、そんなイメージで、
0:09:16	今回、
0:09:18	そうですねそういう意味ではやっぱりリソースの問題とか、多分、規制庁さんがもうおありでしょうから、そういうところで、何とかお願いできればということでございます。
0:09:32	規制庁のサンゴです少々お待ちください。
0:09:36	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:09:38	すいません。規制庁のホデですけども、今のご説明では大体わかったんですけども、委員会でね、
0:09:49	多分1件の最新バージョンを使う、使うとかということだと思いますし、はい、昨今のいろんな未照射の燃料のね、
0:10:02	当申請実績とか、はい。申請書の内容を踏まえて、少しその辺についていこうかなということだというふうに認識したんですけども。
0:10:13	要はその設備の仕方をよく考えて欲しいなと思うんですね。何をメインに持って行って、先ほど先ほどおっしゃってたダンボールの話とかね。
0:10:25	そういうも能がはい。どちらに、要はバイアスの評価としてね、やるのか、メインでも、コアからこうですよって、
0:10:37	バーッと御説明するのかっていうふうなところは、あまり過去、過去指定してもおかしいよねそれ要は着三菱原子燃料として、自信持って今まで言ってきたやり方だだと思うし、それに対して、さらに、
0:10:52	こういうことがあるんでこういうことのバイアスの評価、バイスバイアスを見ましたけども、その影響はこんなもんですよと。だから、これがどういう状態になっても、
0:11:02	今段ボールとかでおっしゃったけども、智恵の方が厳しいとか、あった方が厳しいのかとかね、いろいろあると思うんですね。だから、その辺はどういうところをメインのシナリオにして、どういうところをバックアップとして説明するのかっていうことは、よく今までの許認可でせ
0:11:21	要は、設計承認申請の中で説明していることもよく勘案して、シナリオ作りをしてください。
0:11:32	それは、わかりました。ありがとうございます。理解していただけますでしょうか。
0:11:38	はい。出資いたしましたっけ。
0:11:41	そういうことですねはい。
0:11:45	メインのところはい。はいはどう書くのか。はい。1章の4まで一緒に言うんだったかな。までで、どういうふうなストーリーでいくのか、行動を変えたとか何とかとかね、そういう話はそちらでいけるかもしれないけども、
0:11:59	何か感じやったら、何今まで、こういうことあったのっていう花強いというのもすごい不自然だし、どちらにしても、申請者としての分、ちょっとあんまかっこいい話ではないと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:12:12	で、その辺は、過去はもちろん、否定することなく、今回こういうバイアスについても検討しましたとかね。どうするかってよく考えてください。
0:12:26	わかりました。ありがとうございます。はい。阿藤。経年変化なんですけれども、経年変化については、要は、
0:12:37	原則ね、原則言いますと、イ、口所 A から E で、その安全性評価、技術基準に対する適合性評価を行っている上で、
0:12:49	考慮している材料っていうのが原則になると思います。ですから、その辺、材料の選択とかっていうことは、間違えずにやってください。
0:12:59	で、どんなことを言ってるかっていうところは、資金の、例えば、もうすぐ出ると思いますけども、原子燃料工業の申請案。
0:13:11	申請案件、それに対して承認を
0:13:16	が、金ホームページ等でね、公開されると思うので、そういうものとか、原燃輸送の N f T M 4 型とかね、そういうやつもおりにくると思うので、
0:13:31	その辺でどのような申請者が説明をしているか、それに対して、規制庁がどのようにアンダーをしているか。
0:13:43	そこは審査書の内容とか、それ、それと対応する、申請書の内容を申請書でどのようなことを、要は各事業者さんは話をしているかというところをよく見比べて、
0:13:58	どのように評価したらいいかっていうことを、どのように評価をして、どのような結論を一部かということを考えてください。
0:14:09	はい。
0:14:10	わかりました。ありがとうございます。
0:14:13	はい。今のところが大体そう。だから、要は今、
0:14:19	藤馬渡、今のいろんな申請の内容、申請案件の内容を見ると見て、とろ小 F の経年変化の
0:14:30	影響のところについては、それぞれ因子となるものに対して、どうなのか、それが安全解析というか炉 S H O E I から異議ので、
0:14:44	適合性評価をするし、する上で、条件とかというものに考慮する必要があるのかなのか。
0:14:55	までは明確に書いてください。
0:14:57	で、それをどのように、それをどのようにどのように炉 S H O E I から飯野間で展開しているかということ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:15:08	それはろ紙をFで行ったことを踏まえてそれぞれのSHOE IからEの該当するところで、どのように考慮し、具体的にどのように考慮して、解析をやったかと。
0:15:22	その上で適合性評価をどう持ってきたかということを説明がちゃんとなってるから、要は段階分けでちゃんと説明なってるかということを、
0:15:32	もう1回、今いろいろ検討されてる最中ではないかと思えますけれども、
0:15:39	そこがちゃんと分けができてるかどうかということをよく確認してください。
0:15:44	はい。はい。私の方から以上です。
0:15:48	はい。ありがとうございます。ちょっと私が今までちょっと発言をしても、所属と名前を申し上げてなかったのが、改めてMNFの松岡でございます。
0:15:59	そうですね、今小田様からですね、ご説明いただきましたけれども、ロシアFの方では、
0:16:10	経年劣化の必要性、経年変化の評価の必要性ということ、それを踏まえた各評価はAからEへということで、そこら辺の
0:16:24	商談でというんですかね、仕分けというんですかね、そこはもう一度確認させていただきたいと思えます。
0:16:31	それからですね、
0:16:34	臨界評価に関しまして、当然今までのやり方というものが当然ございまして、それから、私どもとしてはですね一次という考え方でございましてけれども、
0:16:46	その辺のところですね、きちっとまたご説明申し上げたいと考えております。ありがとうございます。
0:16:56	お願いします。
0:17:00	すいません規制庁さんの方ですけども、ちょっと確認させてください。
0:17:06	はい。何か、
0:17:09	上がってきた中でショックマウント等についてちょっと教えていただきたいんですけども。
0:17:15	はいはい。
0:17:17	宇都というのは、
0:17:20	構造解析の中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:17:23	入力条件、
0:17:25	入ったりモデル化の中にモデルに入ってるんですかね。
0:17:31	そうですねすみません、まだちょっと続きがあって具体的に言うと、サッカーの評価とか、
0:17:38	言ったところに入っているんでしょうか。
0:17:42	そうですね落下評価のモデルにですね職場うんとかばねという形でモデル化されてございます。
0:17:51	それでちょっと技術的な話に立ち入ってしまうのですが、職場宇都ゴムでございますので、長く置いておくとタイヤが硬くなるのと同じくですね、交換します。
0:18:02	で、基本的なところの、なんていうか、落下したときの衝撃の吸収っていうのはですね内部に張ってある木材ではあるんですけれども、当然ショックマウントモデルの一部として、
0:18:14	入れてございますので、わずかながらですね加速度が、具体的には2Gとかそういう値になるんですけれども、大きくなります。今回ですねそれを含めて改めてですね構造評価のところを再計算したと。
0:18:29	ということでございます。
0:18:31	職安等につきましてはですね一応10年使ったものとかいうのをですね、もう一度ですねマネ定数を測ってですね、
0:18:41	それで設定したということでございます。
0:18:47	規制庁のサンゴですけどそうするとショックマウント自体は交換部品ではなくて、今後どんどん硬くなっていくのかぼろぼろになっていくのかよくわかりませんが、あと何年使うっていうのを考慮した上で、例えば60年間使いますっていうので60年間の中で、
0:19:03	一番性能が悪い時点の表、材質とか物性値でもって評価をするといった考え方になってるということでいいんですかね。
0:19:14	少しショックマウントに関しましては定期交換というふうなことを考えてましてですね、それで今、
0:19:25	具体的には13年とかそういう値を今決めているんですけれどもそこまでの、一応、効果っていうんですかね、それを踏まえて大丈夫ですよというふうなこと。
0:19:35	今回改めて評価し直したということでございます。
0:19:42	別になんの問題もないんですけども、
0:19:46	そういったところだと、保守のところにもう

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:19:51	何年で交換するみたいなところは修正されるっていいんですかね。もちろんでございます。
0:19:59	はい、わかりました。
0:20:02	それから臨界の計算をちょっと見直すというか新しいコードで確認することなんですね。はい。
0:20:09	今までの古いバージョンと言っているのかわからないんですけども、古いバージョンで何かしらの問題があったコード計算コードであるみたいな指摘があったとかそういったことではない。
0:20:22	そういうことではございません。ただ単に、耐震構造でやり直すだけであっていいんですかね。
0:20:31	結構、そうですね。そんなところで、例えば、
0:20:36	データセット問題があって、やり直しとか、
0:20:42	何て言うんすかね断面的ライブに間違えてましたとか、なんかそういうのがあってやり直せとかっていうのもあましたけども、今回の件で言うのはただ単に、今後の面、解析評価のメンテナンスを考えて最新コードでやっていくっていう、
0:20:57	だけだということですかね。
0:21:00	そうですね。中身としてはそういうことになります。当然精度とか上がってますし、値とかも当然同じことをすれば多少変わるんだと思うんですけども、今後のことを考えてですね今は、いわゆる検証されているコードの中で、
0:21:15	最新のものっていうんですかね、そういうものを紙に、今回変えさせていただいて今後の事に備えるという趣旨でございます。
0:21:25	はい。松岡でございます。はい。失礼しました。はい。規制庁さんでもすねそれでその際に、
0:21:32	多分今まであまり細かく言われなかったのか、
0:21:37	逆に安全側に無視していたのかっていうところもあると思うんですけども、
0:21:41	中農分IIをそのまま入れるんじゃなくて根本みたいなものを使いますと、
0:21:48	今後がいいという、今ちょっとガクッと混在と言いましたけども、何か、収納物豊以外の何か袋に入れますとか、いろいろあると思うんですけども。はい。はい。そういったものを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:22:02	評価をすべきと考えたものは評価対象に入れてモデルにし、するといったように聞こえたんですけどもその理解は合ってますかね。はい。
0:22:12	そうですね当然、もともとこのマツオカでございます失礼しました。
0:22:21	この容器自体の評価っていうのがですねもう 1985 年前後というふうなところでですねもうすでに 40 年近く前の計算でございますで当時は 2 次元とかですねそれからモデル化の、
0:22:35	細かいところっていうのは計算機の問題とかですねそういうところがあって、
0:22:40	ある程度エンジニアリングジャッジのもとでですね、当然モデルをシンプルにして計算をしてきたということでございます。ただ最昨今のところ、かなり当然計算機的能力拡大に違いますしですね。
0:22:55	それから当然コードそのものも改善されていると。
0:22:58	いうふうなところでですね、今般、新しくですね、そういうものを入れたと。その中の一環としてですね、梱包材等もですね、
0:23:09	今回新しくモデル化をしてや、改めて解析をしたということでございます。
0:23:18	はい、わかりました。
0:23:20	一応今後使う予定の鋼材の種類とかっていうのが何種類とかもあるのであればそういったところは網羅されてくるっていうことでいいんですかね。
0:23:30	そうですね使っている混在そのものはもう実績ございまして、これを今更変えるってことは基本的には考えてはございませんで、そういうことですね今般、今まで使ってきたものを今後も使うと。
0:23:45	いう前提のもとでですね、ある程度、物性値等はですねちょっと保守的になるように見直してですね、実際の臨界計算というのはさしていただきました。
0:24:02	はい、わかりました。
0:24:08	何かありますか。何かスケジュール的なところ、どういう説明した。
0:24:14	津野嵯峨新倉っていう、規制庁のマシモですけれど、先ほど仲の方で、
0:24:26	ブランドの 10 年の効果を見ているという、
0:24:30	これ A N A の笹中里新宮と同じくっていうことで、家よろしいですか。
0:24:41	あ、すいません規制庁の橋場ですけども聞こえています。はい。
0:24:44	はい。聞こえてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:24:50	先ほど庄パートナーほかの話があったと思うんですけども、会社として一応考えてはい。
0:24:57	絵のような場所のような話、どうでもいいけど高架下のやつ使って解析してこういう振動数出してるという理解でよろしいですか。
0:25:09	すみません。おばあさんの開発っていう。
0:25:16	うん。
0:25:17	あ、ごめんなさい、ちょっと声が届いてまして、すみません
0:25:22	瀬古丸田の公開について新藤野呂小Fのある所の4-7室のところでも考えられているんですよっていう風だけです。
0:25:35	炉所のところのいわゆる移送中の振動っていうところに関しましてはですねこの容器の場合は実質的には外側の容器っていうんですかね、器の方が基本的にはそこの評価になろうかと思えます逆に言うんですね、
0:25:51	どういうことを言ってるかということ、内側の部分っていうのはですねその深度をどちらかということ、輸送中の進路に関しましてはですねそれを吸収していくものでございますので、
0:26:02	容器の内側、
0:26:04	の、いわゆる燃料を掴んでるところですねそこは一応今のところは評価対象外ですし、今回の経営劣化に関しましてはですね、影響ないというふうに判断してございます。
0:26:18	ですので、容器の外側ですねいわゆるシールの部分ですよ。そこを一応、
0:26:24	振動評価としては対象に今のところは考えてございます。
0:26:32	記者知久です。はい。はい、わかりました。ありがとうございます。
0:26:47	すみません規制庁のサンゴですけども、
0:26:51	はい。
0:26:53	申請される時期、早い方がいいというお話なんですけれども、
0:27:03	ちょっと
0:27:06	何て言うんですかね。
0:27:07	あまり、
0:27:09	大したあれではなくて申し訳ないんですけども、
0:27:12	年度の最後に何か出されて、
0:27:15	年度を跨いで、
0:27:17	何か、
0:27:19	イメージが何年も見てるみたいな、2022年度、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:27:24	2023 年度にわたって審査みたいな、
0:27:27	長期化してるとか、何かその仕事をしてないんじゃないかのところはあまり言われたくないんですね。
0:27:35	はい。はい。
0:27:37	で、どんな 2 頑張ってもう今までの実績からしても、2 ヶ月 3 ヶ月、
0:27:45	補正の必要がなければもっと早いのもかもしれませんけれども、
0:27:49	申請書を出してやっぱり文言の修正が必要であったりとか、
0:27:54	お互い、こちらの方が説明なんかは通りが悪いとか、今までの考え方の説明の補正が必要であるとかそういったところまでい
0:28:04	ないとも限らないんですね。そういったことを考えると、やっぱり 1 ヶ月 2 ヶ月、
0:28:11	審査に時間は必要だと思います。
0:28:14	どの状況で、この年度末に出して、年度跨ぐってというのは、
0:28:19	できれば避けていただきたいなというふうに考えているんですけども、
0:28:24	M N F 側のお考えはいかがですかね。ちょっと今、補足しますと、
0:28:31	今まで例えば 2022 年度とかの実績でいうと、長くても 4 ヶ月とかそういうぐらいで、補正があったりとかしてもですよそちらですぐに補正が出せないってということなんです。はい。
0:28:43	そういったコメントとかを対応してもらおうとかを含めても 4 ヶ月ぐらいで、
0:28:49	設計変更の承認というのは処分されてきているのかなと。
0:28:53	それぐらいのスケジュール感で、例えば今、あと 2 週間さらに短縮する必要があってどうしてもとかっていう、
0:29:03	なんか対等なスケジュールとも思えないんですけども M N F 側としては、
0:29:10	年度をまたがず、2 代わってカラー心機一転、新しいプロジェクトみたいな感じで申請するというところについてお考えはいかがですかね。
0:29:26	社会的にはかなりタイトなんであっていうところは実はちょっと言われてはいるんですけども、
0:29:33	ただ、
0:29:34	ちょっと補足。
0:29:36	相談させていただいて、
0:29:38	いいです、正直、
0:29:41	正直やっぱり、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:29:46	ちょっと相談させていただけますでしょうか。多分正直言うとやっぱり4月ちょっと入るかなっていう気もしてますしですね。
0:29:53	はい。ちょっと、はい。ごめんなさい。僕投資家で実習館がどれだけ行ったりとかっていうところがちょっと悩ましいところでは正直あって、
0:30:05	はい。
0:30:07	申し訳ないですがちょっと相談させていただいてよろしいでしょうか。はい。どうぞ。わかりました。はい。はい。申し訳ございません。ちょっと中井いうすぐ忘れてしましましてマツオカでございます。
0:30:23	あと補足しますと、ふなので、あまり厳しく見るポイントをBとかに比べたら少ないのかなというところもありますので、
0:30:35	はいそれをどう、
0:30:38	何かこうぎりぎりやらなきゃいけないもの、申請であると
0:30:43	今現段階では思っはいませんということだけ、はい。
0:30:48	はい。ありがとうございます。
0:30:52	私どもそうではあるかとは思っはいるんですけども、もちろんそういう前提では考えておるんですけどもいかにところそれはもう、規制庁さんのご判断になってくるのかなと思いますので。はい。ありがとうございます。
0:31:14	基礎のマシモです。
0:31:17	他、規制庁側からは、
0:31:19	なしでよろしいですか。はい。MNFの方から何か質問等あればお願いします。
0:31:28	松岡ですけれども、私自身はございません。あと、ちょっと倒壊或いは、
0:31:34	ちょっと今日同席いただいている重工さん側から何かございますでしょうか。
0:31:42	人口側からございません。
0:31:46	三菱原子燃料、東海立場です。特にございません。
0:31:52	ありがとうございます。すいません、規制庁ではないですけども、申請書を提出できるっていう準備が整うっていうか、申請する日みたいなところが、
0:32:05	お考え決まりましたらですね。
0:32:08	できるだけ前広2、こちらをお知らせいただけるようお願いいたします。受理ての手続き、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:32:14	受理するにあたってはある程度体裁確認とか、そういったところもありますので、はい。そういったスケジュール上でも、スケジュールつい予定、提出予定については前広にお願いします。お知らせいただくようお願いいたします。
0:32:30	はい。
0:32:32	次、
0:32:33	何て言うんすかね。固定債っていう表現がいいのかどうかかわからないですけれども申請書等ですね体裁等っていうのは、
0:32:43	これは3月中でも、
0:32:45	ちょ、ご確認いただけたらいいでしょうか。
0:32:50	いや特に体裁を確認しないと、提出させないみたいなことではなくて、提出物が来た時点で、
0:32:58	足りない書類があれば足りませんので受け取れませんという形が今のやり方ですね。
0:33:05	従前わかりました。昔はある程度の確認案みたいなあって、
0:33:10	こういった亭主11物であれば受け取れるみたいな確認を取ってましたけれども、今現在のやり方としては、もう受け取ってから、いいか悪いかっていう判断で返す、返さない。
0:33:22	ていうことになりますので。わかりました。はい。そうですね用紙キーとか手続きガイドに従って記載されています。いけば問題ないですし、従来は
0:33:35	安全解析の内容、
0:33:38	まとまっていると思いますので、何か不足な部分があるとは思えないんですけれども、航空が何か、
0:33:49	何て言うんすかね過不足みたいなのがガイドと突き合わせてどうかかっていう疑問点があれば、お知らせください。
0:33:58	ガイドわかりましたに書いてある記載要領とかの説明等については、特に問題ない。市審査とは別の話ですので、ご説明いたします。
0:34:09	はい。ありがとうございます。
0:34:13	それ。
0:34:15	ぐらいでしょうかね。よろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。はい、ありがとうございます。お時間ありがとうございました。
0:34:23	はい。それでは青木さん。はい。それでは、それでは本日の面談で終了したいと思います。本日はありがとうございましたお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:34:34	スミノフ松岡でございます本日はありがとうございました。今後ともまたよろしく願いいたします。
---------	---

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。